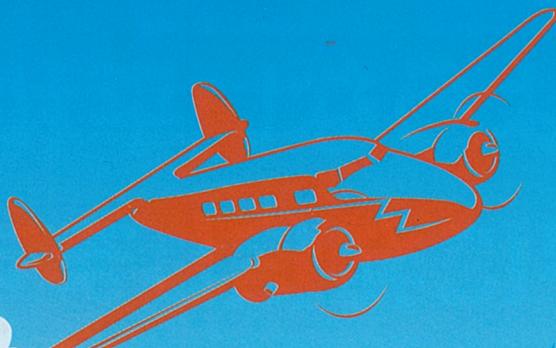


心に杭はない



映画『流血の記録 砂川』：1956年製作／56分 上映後講演：島田清作（元立川市議）

映画『流血の記録 砂川』上映 + 講演会

安保法案を廃案に！～「砂川判決」から見る民主主義

参加費
¥500

8/29 SU 18:45～21:20 T (18:30 開場)

会場 武蔵野公会堂
(吉祥寺駅南口徒歩2分)

「砂川闘争」から今年で60年。

砂川に近い米軍横田基地にオスプレイが配備される計画があります。
決して「砂川闘争」は過去の話ではありません。

私たちは民主主義をどうやって勝ち取っていくのか。当時高校2年生で「砂川闘争」に参加し
“大事なことは市民が決める”という理念を貫く、島田清作さんに上映後お話をいただき、
安保法案を廃案に追い込むために私たちができることを一緒に考えましょう。



島田 清作さん

<6月議会で採択された、安保法案撤回または慎重審議を求める意見書>

小平市「今国会に提出された安全保障法制関連法案について議論を尽くすよう求める意見書」

国立市「憲法違反の安全保障法制法案の速やかな廃案を求める意見書」

武蔵野市「『安全保障関連法案』の今国会での成立を断念するよう求める意見書」

小金井市「集団的自衛権行使を可能にする憲法違反の『安保法案』を撤回することを求める意見書」

※三鷹市では安保法案の成立を求める「平和安全法制に関する意見書」が採択されました。市民からは撤回を求める請願署名が始まりました。

主催：市民自治をめざす三多摩議員ネット

問合せ：090-2460-9303（片山）



私たちは武力による平和を このまちから世界に発信します！

安保法案を廃案に！

すべての人々が平和に生きる
「平和的生存権」が保障された世界へ！

平和な世界を子どもたちに手渡していくと地域で日々活動している私たちは、

満身の怒りを込めて安保法案の強行採決に抗議します。

多摩地域では多くの議会で撤回や慎重な審議を求める意見書案がだされました。小平市議会では「議論を尽くせ」という意見書案に自民党と公明党の議員は「請願理由を少し変えれば、賛成してもいい」とまで言いました。この法案には賛成だが、強引なやり方には反対だという人がたくさんいます。

アメリカ、中国、日本は経済的にも政治的にも文化的にも深く結び合っています。日本の貿易額の各国割合は輸出ではアメリカと中国がそれぞれ総額の 18%。輸入では中国が 22%、アメリカは 9% です。アメリカ国債の保有額は日本と中国がほぼ同額で合計 2 兆 4500 億ドル、国債総額の 4 割。レート 100 円だと 245 兆円になります。

この 3 国が戦争をすれば、世界が破滅することを権力者はよく知っています。起こり得ることは自衛隊がアメリカ軍などと一体となって世界の紛争地に派兵され、戦闘に巻き込まれることです。また、日本が国際テロの標的になることです。

議員ネットの仲間たち（議員以外の方も参加しています）

- 1999 年、三多摩の市民派議員で結成。情報交換や共同の取組みを通じて、市民自治を大切にした地域づくりを行なう緩やかなネットワークです。
陣内やすこ（八王子市）、有賀精一・加藤慶二（日野市）、大沢ゆたか（立川市）、山崎陽一（羽村市）、ひだ紀子（青梅市）、田村みさ子（日の出町）、吉川洋・丸山美子（檜原村）、重松朋宏（国立市）、片山かおる・漢人明子（小金井市）、野村羊子・嶋崎英治（三鷹市）、市原広子（狛江市）、山本ひとみ・内山さと子（武蔵野市）、遠藤めい子（多摩市）、橋本久雄・村松まさみ（小平市）、布施由女（清瀬市）、辻よし子（あきる野市）、大塚恵美子・佐藤まさたか（東村山市）、森てるお・大友かく子（西東京市）、白石玲子（東久留米市）
連絡先:重松 (090-4937-4596) 陣内 (090-4125-9259) 大塚 (090-1795-8377)

政治を市民の手に取り戻しましょう！

私たちは世論の力で国の政策を変えたという経験を持っていません。どんなに反対があってもすべてが国会で決まってしまう。政府が決めたことは絶対に変えないという政治が続いてきました。このことが政治への不信や無関心を生み出しました。

しかし今回は違います。「新国立」建設案を白紙に戻したのは圧倒的な世論の力です。「国民の理解は得られていない」と言いながら、強行採決したのは安倍首相の危機感の現れです。

私たちは市民の力で国の政策を変えるチャンスを手に入れようとしています。それぞれの町でたくさんの市民、学者や文化人、俳優やアスリートなど様々な人々が声を上げました。その中心には 20 代の若者がいます。こうした声をさらに拡げ、安保法案を廃案に追い込みましょう。

誰もが平和に暮らす権利が保障された世界を創り出していきましょう。

